

＊ このたび、小社刊 藤井英次著『コア・テキスト 国際金融論 第2版』（初刷、第2刷）に下記の誤りがございました。
誠に申し訳ございません。訂正のうえお詫び申し上げます。

■『コア・テキスト国際金融論』 正誤表

2016年10月 新世社

該当箇所	誤	正
p.24「利子率と主観的割引率」第12行目	逆に一時的な借り入れ（＝負の貯蓄 dis-saving）によって	逆に一時的な借り入れによって
p.61「複式計上方式」第1～2行目	「貸方 (Credit), +」か「借方 (Debit), -」	「貸方 (Credit)」か「借方 (Debit)」
同 3, 4 行目	「貸方, +」, 「借方, -」	「貸方」, 「借方」
同 4～5 行目	資産や負債の増加は+, 減少は-で記録	資産の減少や負債の増加は貸方, 資産の増加や負債の減少は借方で記録
p.62, 5 行目	一方向を「貸方」或いは「+」と, 逆方向を「借方」或いは「-」	一方向を「貸方」, 逆方向を「借方」
同 9 行目	あたる貿易収支の「貸方」項目に+1 億円	ある貿易・サービス収支の「貸方」項目に 1 億円
p.63, 1～2 行目	資本収支の投資収支の「貸方」の項目に+1 億円	金融勘定のその他投資の「借方」の項目に 1 億円
同 4 行目	資本勘定にそれぞれ「+」の符号をつけて同じ金額	金融勘定にそれぞれ同じ金額
表 2.4, 表 2.5		別添のとおり（網掛け箇所が訂正部分）
p.78, 9 行目	満期時	満期日
p.84, 図 3.2 表側第 3 項目 2 行目	信用金庫	信用組合
p.93, コラム 10 行目	日本銀行は国際や	日本銀行は国債や
p.159, 19 行目	consumption price-based real exchange rate	consumer price-based real exchange rate
p.159, 数式 (6.6)	$Z_t = S_t(\text{yen} / \$) \cdot P_t^*(\$) / P_t(\text{yen})$ $= 120(\text{¥} / \$) \cdot 100(\$) / 10,000(\text{¥})$ $= 12,000(\text{¥}) / 10,000(\text{¥}) = 1.2$	$Z_t = S_t(\text{¥} / \$) \cdot P_t^*(\$) / P_t(\text{¥})$ $= 120(\text{¥} / \$) \cdot 100(\$) / 10,000(\text{¥})$ $= 12,000(\text{¥}) / 10,000(\text{¥}) = 1.2$

p.257, 本文最終行	安定を優先して固定相場制度を採用した場合,	安定を優先する場合, 固定相場制度を採用して
p.268「復習問題」 9.4 2行目	「……を導入すべきだ」	「……導入すべきだ。」
p.338「復習問題略解」 2.4 (1)	貿易収支に(−5 千万円)と, 米ドルの支払を金融勘定の証券投資に(−5 千万円)	貿易・サービス収支の借方に(5 千万円)と, 米ドルの支払を金融勘定のその他投資の貸方に(5 千万円)
p.338-339「復習問題略解」2.4 (2)	証券投資に(−1 億円)と, 米ドル預金の増加を同じく証券投資に(+1 億円)	証券投資の貸方に(1 億円)と, 米ドル預金の増加をその他投資の借方に(1 億円)
p.339「復習問題略解」2.4 (3)	第一次所得収支に(+10 万円)と, 豪ドル預金の増加を金融勘定の証券投資に(+10 万円)	第一次所得収支の貸方に(10 万円)と, 豪ドル預金の増加を金融勘定のその他投資の借方に(10 万円)